みらい通信

管理運営委員会便り 11 月号
2022 年 11 月 12 日発行
ワシントン日本語学校
管理運営委員会　広報部
koho@wjls.org

早いもので今年も残すところあと 2 か月。時計の針を 1 時間戻すと夕方暗くなるのが早くなり、冬の足音が聞こえてくるかと思いきや、暖かい日が続いたりして体調管理が難しい季節です。本格的なホリデーシーズンを控え何かと慌ただしくなりますが、お体に気を付けてお過ごしください。

今月号のみらい通信では、年次総会で就任した新管理運営委員長からの挨拶や青い封筒募金キャンペーンのお知らせを掲載しております。また、3 年ぶりに全面再開された大運動会の開催までの道のりを運営委員会で準備を取りまとめた担当者の目線で振り返ります。ぜひ最後までご覧ください。

＜目次＞ 年次総会のご報告 / 後期管理運営委員会のメンバー紹介 / 前・新管理運営委員長からのご挨拶 / 新委員の紹介 / 青い封筒募金キャンペーン実施 / 3 年ぶりに全面再開された運動会 / 委員長からの報告

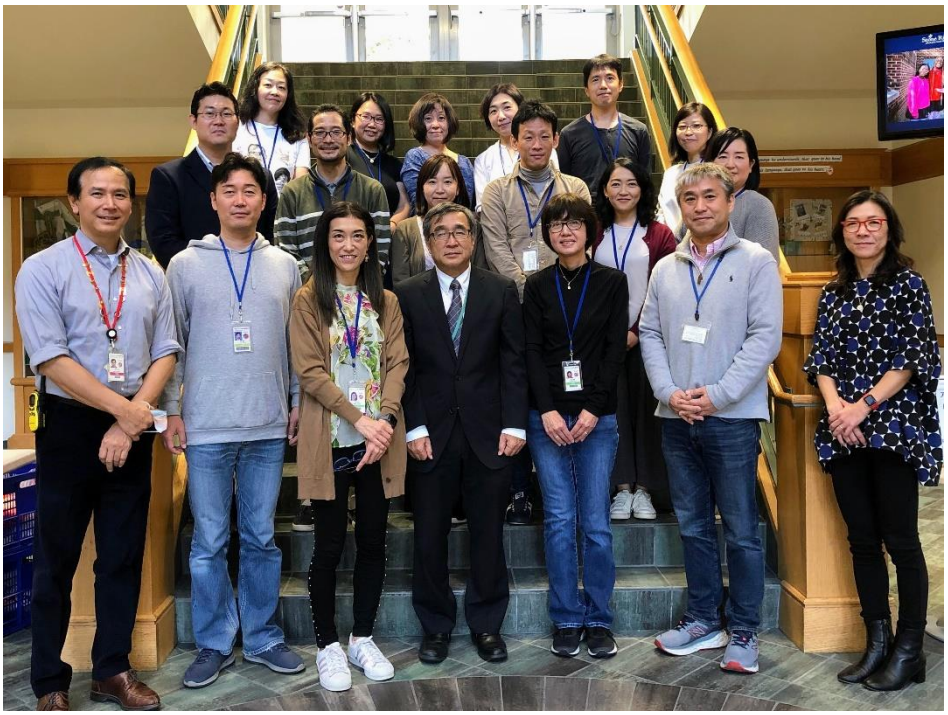
2022 年度年次総会のご報告（広報部）

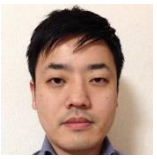
2022 年度の年次総会が 10 月 22 日に開催されました。出席してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。総会では、渡辺管理運営委員長がポストコロナの学校運営の課題を発表。神戸校長が国語力向上ベーシックプランの進捗状況について説明しました。また、渡辺委員長の退任に伴い、辻川扶紀前総務部長が新委員長に選出されました。各部からの活動報告に続き、質疑応答時には授業料の負担や転入学のプロセスのほか、広告の掲載に関する質問などにお答えしました。総会の資料や議事録は、本校ウェブサイト保護者ページの「総会・保護者説明会」に掲載されております。

3 年ぶりに対面で開催された年次総会では、学校行事としては初めて聖心 SR 校の演芸場を使用しました。会場にはステージがあり、客席側は階段状になっているため、後方席からも発表者やスライドが見やすい構造になっています。出席された皆様は、どのような印象を持たれたでしょうか。今後もより多くの方に総会に参加していただき活発な意見交換ができるよう、今回の年次総会についてアンケート（https://forms.gle/2S2k21eKMBFxfqMW8）を作成しましたので、ぜひ皆様のお考えをお聞かせください。欠席された方も、その理由やご希望について教えていただけますと、今後の総会を計画する際の参考させていただきます。

管理運営委員会は辻川新委員長に加え、3 名の新委員も仲間に迎えて新たな体制で後期をスタートしました。生徒達が充実した学校生活を送れるよう取り組んでまいりますので、今期も保護者・教職員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

2022 年度後期管理運営委員会のメンバー紹介





牛嶋（財務部）

大杉（総務部）

善治（教育人事部）

田島（学年代表）

後列左より：杉本・松山（学年代表）、マッキソック・大島・平井・塩崎（教育人事部）
中列左より：松林・成田・竹村・瀬尾（総務部）、河野・竹内（広報部）
前列左より：田嵜事務局長（特別委員）、村田（特別委員）、小寺（副委員長）、神戸校長、
辻川（委員長）、渡辺（特別委員）、グリフィン（財務部）

前･新管理運営委員長からのご挨拶

渡辺政志前委員長の退任挨拶

この度、10 月 22 日の年次総会をもちまして 2021 年 4 月より務めていた管理運営委員長を退任したことをご報告させていただきます。学校関係者、そして日頃よりご支援いただいている地域の皆様のご理解・ご協力のもと、無事に委員長の職務を全うすることができたことに今は安堵の気持ちでいっぱいです。

2019 年度に管理運営委員会総務部へ参加したことに始まり、2020 年度は総務部長として、2021 年度からは管理運営委員長として微力ながら学校の管理運営に携わってまいりました。コロナ以前の学校運営からコロナ禍での学校閉鎖、オンライン授業の立ち上げ、2 部制対面授業への移行、終日 1 部制対面授業の再開と、 3 年半で様々な学校運営の変化を経験いたしました。難しい状況の中、学校を導いていただいた神戸校長、猪俣教頭、森前校長、佐藤前教頭、授業体制の変化にも柔軟にそして前向きに対応していただいた教職員の皆様、縁の下で学校を支えていただいた田嵜事務局長始め事務局員の皆様、そしてコロナ禍においても変わらぬご支援をいただいた日本大使館・地域の皆様方に改めて感謝申し上げます。

運営委員一同より感謝の気持ちを込めて

保護者が学校の管理運営を行う本校において、様々なバックグラウンドを持つ延べ約 50 名の運営委員の方々と共に学校運営に携わるという貴重な機会をいただきました。特にコロナ禍オンライン期間には、授業終了後の夕方からスクリーン越しに学校運営方針を皆で数時間に渡り議論したことなど印象深く心に残っています。また先日 3 年ぶりに開催された大運動会では、一堂に会した生徒・保護者・学校関係者の笑顔を見られたことで、これまでの活動に対する一つの大きな達成感を得ることもできました。これら全ての経験は私の人生の中でも貴重な財産です。

ポストコロナの学校管理運営のバトンを辻川扶紀新委員長につなぎ、皆様方の変わらぬご支援をお願いいたしまして退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

辻川扶紀新委員長の就任挨拶

辻川新委員長にバトンタッチ

この度、渡辺政志前管理運営委員長よりバトンを引き継ぎました辻川扶紀です。日本語学校には 2007 年の長男（現在大学 4 年生）の幼稚部入園以来 15 年、現在は高 1 の娘がお世話になっています。

日本では中学教員だったこともあり、2007 年から 10 年ほど教員として勤務しました。一時期は子供 3 人が在籍していましたので、毎年のように担当学年を変えていただき、小 1 から中 2 までの全ての学年の担任を経験することができました。日本での教員時代にはベルギーのブラッセル日本人学校で 3 年間派遣教員を務めたこともありますが、週 1 回の補習校は日本の公立学校や全日制在外施設と同じ教科書で教えていても、多くの面で大きく違うのだと実感する日々でした。もちろん、生徒の皆さんと教室で過ごした 10 年間の思い出は、一言で語るにはあまりにも多すぎる、私の一生の宝物です。

教員を退職した翌年に放課後クラブを立ち上げたことで当時の松井委員長に推薦していただき、2019 年に管理運営委員会総務部に参加し、今年の特別総会で任期満了により退任したところでした。総務部在任中は、2019 年度の運動会や 2020 年度の By Laws 改定を主に担当しました。2021 年度は総務部長として、 1 部制対面授業開始に向けての保護者役割の見直しを始め、各種行事での保護者のお手伝い計画を感染症対策に合わせて見直す課題などに、総務部一丸となって取り組みました。オンライン授業から 2 部制、そして 1 部制と、安全かつ速やかに移行できたのも、保護者や教職員の皆様のご理解とご協力、事務局の皆様のご尽力があったからこそと改めてお礼申し上げます。

今後も「持続可能な学校運営」を基本方針として、ポストコロナの学校管理運営を継承していきます。先日の 3 年ぶりの大運動会再開、図書館対面利用再開に続き、現在の学校体制をできるだけコロナ以前に戻していく作業を、保護者の皆様方、学校関係の皆様方と連携して取り組んでいく所存です。ワシントン日本語学校への変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新委員の紹介

竹内 由美
（広報部）

日本語学校には小 4 と小 2（双子）の 3 人の息子がお世話になっております。アメリカに来て 4 年。最初の頃子供達は英語習得に苦労し心配しておりましたが、最近は英語の方は落ち着きつつも日本語の方は停滞していて、漢字学習に四苦八苦しています。英語と日本語どちらの習得にも手が抜けない状況で、何より時間を捻出することが大変です。今改めて 2 つの言語を同時に学ぶ難しさに親子で直面しています。異文化の中で奮闘する子供達を見守り支える保護者の一人として、微力ではございますが学校運営に貢献できるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

松林 拓磨
（総務部）

この度、総務部の一員として学校運営のお手伝いをさせていただくことになりました、松林と申します。アメリカには昨年 7 月から家族とともに赴任しており、子供は今年 4 月から幼稚部でお世話になっております。赴任後間もなく現地校への通学を開始した我が子にとって、日本語学校は心の拠り所とも言える貴重な場となっており、親子共々大変感謝をしております。微力ではございますが、少しでも学校の活動に貢献できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

松山 徳子
（低学年代表）

中 2 に長女、小 5 に次女、小 1 に長男、次男と、日本語学校には 4 人の子供達がお世話になっております。2020 年の秋のコロナ禍に、主人の赴任に伴い日本から渡米しました。初海外で戸惑う中、週 1 の対面での学校生活は、子供達や私にとりとても有り難い環境でした。この度、縁がありまして運営委員会の一員に加えていただきましたので、微力ながら、保護者と学校の掛け渡しをさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

青い封筒募金キャンペーンが始まります！（財務部）

本年も 12 月 1 日から 31 日を期間として、青い封筒募金キャンペーンを実施いたします。できるだけ多くの保護者の皆様からの参加をお待ちしております。キャンペーン終了後には、参加者を対象にラッフルも企画しております。ラッフルの景品についてのご提案がありましたら、管理運営委員会（uneiiinkai@wjls.org）までお寄せください。

青い封筒募金キャンペーンとは？

毎年、サンクスギビング休暇前後から年末にかけて、日本語学校の保護者と関係者の方を対象に寄付を募るキャンペーンです。コロナ禍以前は青い封筒を保護者の皆様にお配りし、登下校時にお渡しいただいていたことから、青い封筒募金キャンペーンと名付けられています。皆様からいただいた寄付金は、全額がその年度の一般収入として計上され、日本語学校の様々な支出をカバーするために使われます。2021 年度のキャンペーンでは、105 名の保護者・日本語学校関係者より、総額$11,102 の寄付をいただきました。寄付をしていただいた皆様に心より感謝の意を申し上げます。

なぜ授業料に加えて寄付を募る必要があるのか？

本校の収入は主に入学金・授業料、日本政府からの補助金、保護者の皆様及び支援してくださる企業・団体からの寄付金です。寄付金を増やすことにより、授業料の上昇を抑えることができます。また、多くの保護者が参加することで地域の日本人コミュニティ内での支持も高まり、支援者や関係者の方々からのますますのご貢献及び寄付金の増加につながります。他にも、本校が IRS 501(c) 上の免税非営利団体であることから寄付金が免税対象になるなど税制面の優遇措置が受けられ、また勤務先によっては、非営利団体への寄付のマッチング制度が活用できるといった側面もあります。本校の財務状況については、2022 年 4 月の特別総会及び 10 月の年次総会で発表した資料で詳しくご説明していますので、本校ウェブサイトの保護者ページをぜひご参照ください。

寄付の方法は？

寄付の方法はオンライン（PayPal・Venmo）又は小切手とさせていただきます。詳細は 11 月中に一斉メールでご連絡しますので、そちらをご覧ください。来月号のみらい通信ではラッフルの景品をご紹介しますので、ご期待ください！

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。

帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 （日本語ダイヤル）
URL: http://www.nittsu.com/hikkoshi

NIPPON EXPRESS

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

3 年ぶりに全面再開された運動会―担当者のココロのうち―（成田伸一郎総務部長）

10 月 8 日土曜日、季節柄少し肌寒く感じられる日に当たったもののすっきりとした秋晴れの下で、ワシントン日本語学校の運動会が開催された。コロナ禍を経て 3 年ぶりの全面開催である。2021 年度秋からの対面授業の再開を皮切りに、運営委員会ではワシントン D.C.近郊における日本語コミュニティ活動の再生という大目標を掲げ活動を続けてきた。本校の運動会が、それを象徴する一大イベントとなったことは間違いない。

運営委員会総務部では、校長先生を始めとする教職員や事務局の皆様と協力し、運動会の準備・実施・片付けの対応を取りまとめた。本校は学校運営を保護者が担うため、運動会を実行するには運営委員会の 20 名総出で準備や進行に携わる必要がある。この点が日本における運動会との大きな違いだ。にもかかわらず、コロナ禍で各種行事が中断したため、運営委員のほぼ全員が運動会の運営を経験したことがないという状況。今年度当初は、過去のマニュアルの読み込みからスタートしなければならなかった。私自身も本校の運動会を見た経験が無く、到達目標を明確に描けない中、それでも計画を進めなければならないというプレッシャーを感じていた。しかし、過去に運動会を運営した実績を有する保護者からノウハウ・ノウフ―の掘り起こしも行うことで、少しずつ形が見えていった。危機管理的なコロナ禍対応の後でコミュニティを再生するのは容易ではない。一歩一歩地道ながらも辛抱強く活動を行っていくことが重要であると痛感した。

9 月も終わりが近くなった頃に具体的な計画がまとまり、ようやく運動会前日の夕方と当日に必要となるお手伝いの人数がわかった。その数延べ約 200 名。多くの保護者、小学校高学年・中高生のお手伝いを募集させていただくことになった。「果たしてこんなに多くのお手伝いが集まるのだろうか」という一抹の不安を感じた。しかし、ひとたび募集が始まると、短期間にほとんどの枠が埋まってしまったことに驚かされた。

そして、ついに迎えた運動会当日。朝の準備はまだ薄暗い中で始まった。お手伝いの保護者や生徒も続々と集まり、会場設営は予想を上回るペースで順調に進んだ。ヘリウムガス風船により万国旗が大空に浮かび上がった時、会場に集まった保護者や生徒から感嘆の声が漏れた。まだ本番は始まっていないものの、会場全体が運動会に向かって心を一つにした瞬間だ。時を同じくして、「これで運動会の開催に漕ぎつけることができる」と、ホッとした気持ちを一番に抱いたことを覚えている。競技が開始してからは、ようやく再開に至った運動会を、大きな怪我など無く、無事に運営ができるように心から願うとともに、どうしても落ち着いてはいられず会場内を歩き回り、来年度に向けた引継ぎ事項をその場その場で談議していた。

本校の運動会には様々な見どころがあるが、特に印象に残った種目をご紹介したい。中高生の応援団による応援合戦では、アメリカであるからこそと感じられる高いダンスパフォーマンスが発揮された。小学校高学年・中高生による紅白リレーでは、アンカーまで順位を競り合う白熱した展開となった。そして、保護者綱引きは、参加者募集のアナウンスとともにすぐさま希望者へのシールの配布が完了するほどの人気ぶり。保護者が本気で競技に参加する姿を目の当たりにし、やはり、コロナ禍からの運動会の再開を、生徒だけではなく、保護者も心待ちにしていたことを感じ、これまでの準備の苦労も吹っ飛び、嬉しさが込み上げた。

最後に、このような素晴らしい舞台で生徒達が一生懸命に競技に取り組むことができたのも、校長先生を始めとする教職員の皆様、田嵜事務局長を始めとする事務局の皆様、そしてお手伝いしていただいた多くの保護者、小学校高学年・中高生の皆様のご協力のおかげです。また運動会開催にあたり、ご来賓、協賛団体、地域の皆様からも多大なご支援を賜りました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

委員長からの報告

晩秋を迎え、落ち葉かきも大変な季節となりました。朝晩の冷え込みに比べ、11 月 5 日の授業日の日中は 80 度を超えるなど、モコモコの防寒着を着た人の横に T シャツの人と、衣替えの習慣がないアメリカらしい風景がありました。体調を崩しやすい時期、どうぞご自愛ください。

さて 11 月 5 日定例管理運営委員会では、まず 10 月 22 日の年次総会後の新運営委員会体制の第一の議題として、渡辺政志前委員長の特別委員就任が承認されました。これは、前委員長が退任後オブザーバーとして委員会の活動などに適時助言を行い、学校運営を円滑に進めていくという趣旨で、来年度の特別総会までの約半年を任期としてお願いしているものです。

次に、10 月 8 日の運動会、前述の総会などの学校行事についての報告と来年度への課題などが提示されました。コロナ禍を経ての 3 年ぶりに一堂に会した運動会、演芸場での対面による総会と、おかげさまで大過なく無事に実施することができました。ご協力、どうもありがとうございました。そして、すでに来年度に向けて、担当部署が実施までの簡単なタイムラインを作成し、必要な情報を収集したり、関係者との協議や交渉をしたりと準備を始めたところです。

その他、全校アンケートの計画、青い封筒募金キャンペーン実施要項、新年度のロードマップなど、校長先生、事務局長、運営委員各部署から様々な提案と相談があり、午後 3 時近くまで白熱した議論が交わされました。なお、全校アンケートや青い封筒募金キャンペーンにつきましては、後日一斉メールなどで別途ご案内いたします。今年度も皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

アマゾン・スマイルをご利用ください

アマゾン・スマイルをご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の 0.5% が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。

寄付にご協力ください！

ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの「寄付概要」ページ にある左の画像をクリックしてください。

委員長：	辻川扶紀
副委員長：	小寺友美
総務部：	成田伸一郎（部長）・大杉真名美・瀬尾学・竹村聡子・松林拓磨
財務部：	グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部：	大島由美子（部長）・塩崎桃子・善治聡人・平井真人・マッキソック美穂
広報部：	河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表：	松山徳子（低学年代表）・杉本純子（中学年代表）・田島美恵子（高学年代表）